

2023年5月20日

三田史学会会員各位

三田史学会会長
杉本 智俊

2023年度三田史学会大会について

下記のとおり、2023年度三田史学会大会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

1. 期 日 2023年6月24日（土）
2. 会 場 慶應義塾大学三田キャンパス（〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45）
3. 行 事 下記の大会プログラムのとおり
4. 参加方法 午前・午後の部ともに会員・非会員を問わずどなたでも自由に参加できます。
5. 懇親会 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度は中止といたします。

2023年度三田史学会大会プログラム

午前の部 研究発表

日本史部会（10:00～）西校舎 524 番教室

1. ヴァリニャーノの「弁駁書」に関する基礎的考察
慶應義塾大学教職特別課程 大谷 馨
2. 戦時下日本におけるナチズム宣伝の展開と受容
—K・G・v・デュルクハイムの活動を事例に—
慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程 山本 晶子
3. 名主石井家の経営と地域社会—近代移行期の名主文書調査報告—
慶應義塾大学文学部教授 小山 幸伸
4. 明治初期における W.ブラムセンの日本古貨幣収集について
—デンマーク国立博物館所蔵資料からの考察—
朝日大学経営学部教授 櫻木 晋一

東洋史部会（10:00～）西校舎 527 番教室

1. タフターウィーの発展段階論とその特徴—『黄金の精錬』における文明論の分析から—
立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程 ウェルズ 桜
2. 清末における日本の地理書とその特徴—中国叙述に関連する地理書を中心に—
一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程 辛 孟軻
3. 近代オスマン帝国における医療の専門職化
—オスマン語定期刊行物における「非正規」医療批判を中心に—
日本学術振興会特別研究員 PD 鈴木 真吾
4. 中国の在来綿業と社会主義体制
慶應義塾大学経済学部教授 加島 潤

西洋史部会 (10:00～) 西校舎 513 番教室

1. ブリュッセルのシトー会女子修道院——ラ・カンブル修道院 13 世紀文書の分析——
慶應義塾大学非常勤講師 舟橋 倫子
2. 16 世紀後半期イングランドのギニア交易
——W.タワソンの「航海日誌」からみる航海・交易・貿易商人社会——
広島大学大学院人間社会科学研究科教授 井内 太郎
3. ドイツ・ソ連占領地区における被追放民問題——ザクセン州を例に——
慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程 中村 亮
4. ドレス・コードと 1950 年代アメリカ合衆国
——ヘット・デパートでの抗議活動を事例として——
同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻後期博士課程 前田 悠士朗

民族学考古学部会 (10:00～) 西校舎 516 番教室

1. 博物館における情報の取捨選択——下関市立考古博物館の体験学習を事例に——
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 畑中 乃咲佳
2. ティムナ遺跡・フェイナン遺跡 (アラバ渓谷) における銅生産活動の性格の違い
——後期青銅器時代から鉄器時代を中心に——
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 加藤 紘
3. ヨルダンにおけるミュージアム認識と利用——意識調査アンケートを踏まえて——
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 山口 舞桜
4. 縄文人の環境適応——縄文時代前期における鳥浜貝塚の研究——
慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程 佐藤 巧庸

午後の部 (13:30～16:30) 西校舎 517 番教室

講演会「写真と歴史研究」

趣旨説明 13:30-13:40

慶應義塾大学文学部教授

浅見 雅一

講演 13:40-16:10

1. 写真の発明と画像保存

東京工芸大学名誉教授・写真家

吉田 成

2. 幕末明治期 尾張藩主徳川慶勝の写真研究と撮影写真

東洋大学文学部教授

岩下 哲典

パネルディスカッション 16:10-16:30

三田史学会総会 (16:30～17:00) 西校舎 517 番教室